

次号予告

特集 障害者ドライビング

障害者ドライビング周辺の法知識

.....東京都身障運転者協会	畑 中 伸 三
身障者用自動車の改良.....	神奈川リハビリセンター 土 嶋 政 宏
障害者用自動車の開発.....	東厚生会 藤 森 善 一
運転技能教習.....	兵庫リハビリセンター 田 村 信 行
<随想> 障害者ドライビングの問題点	

.....兵庫リハビリセンター	大喜多 潤
体験談/自動車運転免許を取得して.....	白 田 正 一

と び ら 最近思うこと.....	神奈川リハビリセンター 大 橋 正 洋
講 座 痴呆6. 老人の痴呆とボケのリハビリテーション	

及び社会的対策.....清鈴園 三 好 春 樹

摂食1. 摂食機構のメカニズム.....東京医科歯科大 窪 田 金次郎

プロセス 慢性関節リウマチに対する免疫療法の進歩.....	東京女子医大 菅 原 幸 子
あ ン テ ナ '84国際障害者年推進国民会議の動向	

.....川崎市心身障害センター 長谷川 元

資 料 第20回理学療法士・作業療法士国家試験問題一	
模範解答 (I)	

編集後記

「精神遅滞」の用語は、読者の皆様には耳馴染みでしょうか。私が大学生の頃には、「精神薄弱」と言われていましたが、最近では精神遅滞が多用されているような印象を受けます。当時、白痴・痴愚・軽愚と言った知能レベルによる分類を教わりながら、何とも言えない語の響きに胸をつかれ思いがしました。

しかし、今回の特集「精神遅滞」から受ける印象は、20年前に「精神薄弱」から受けた印象とは、まったく接点を持たないのです。高橋氏が述べられているように、医学の進歩が、「正常機能の確保・回復を直接の目標とする治療を、現実の課題とする」レベルへと、発展させたのだと思われます。各著者の論文を読み進む内に医療に携わるセラピストにとって、精神遅滞が、挑

戦的で魅力のある対象として、浮び上って来ます。21世紀に向けて、OT・PT が積極的に取り組んでいくべき領域ではないでしょうか。

さて、今回も「痴呆」の講座が継続されています。病態生理に始まり、原因疾患、心理面や対応面まで相互的に取り上げられています。このシリーズも、今回の「リハビリテーション及び社会的対策」で完結いたします。痴呆に対するアプローチを吟味するうえで、参考にして戴きたいと思います。

窓の外は、風かおる5月、時には我が身のQOLを考えたい季節です。

公私ともども充実した日々でありますように。お天気で。

(富岡 詔子)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
埼玉県障害者リハビリセンター所長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリセンター病院長

(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
ペインリハビリテーションクリニック高島平
整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
都心身障害者センター

富 岡 詔 子
信州大学医療技術短大

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

池 松 洋 子

伊 東 元

岩 崎 テル子

宇都宮 初 夫

金 子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 みち子

鈴 木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 川 隆 宏

古 松 沢 博

宮 崎 和 子

宮 前 珠 子

山 田 貞 雄

矢 谷 令 子

(担当 西塚・細田)